

モルガン・スタンレー、テッド・ピックが 2024 年 1 月 1 日付けで最高経営責任者(CEO)に就任と発表

ジェームス・ゴーマンは業務執行会長を務める

アンディ・サパースタインは共同社長兼ウェルス・マネジメント業務および資産運用業務の統括責任者に、ダン・シムコウィッツは共同社長兼法人・機関投資家向け証券業務の統括責任者にそれぞれ就任

[東京、2023 年 10 月 25 日] モルガン・スタンレー(NYSE: MS)の取締役会は本日、エドワード(テッド)・ピック共同社長が 2024 年 1 月 1 日付けで同社の最高経営責任者(CEO)に就任すると発表した。ジェームス・ゴーマンは業務執行会長(Executive Chairman)に就く。ピックは同時に、モルガン・スタンレーの取締役会にも加わる。同社はまた、共同社長のアンディ・サパースタインがウェルス・マネジメント業務に加え資産運用業務の統括責任者となり、ダン・シムコウィッツが新たに共同社長および法人・機関投資家向け証券業務の統括責任者となると発表した。

ゴーマンは、同社の 2023 年の株主総会において、2024 年の株主総会の前に CEO 職から退任する意向を発表していた。

取締役会のリード・ディレクターを務めるトム・グローサー氏は次のように述べている。「取締役会は、テッド・ピックが、ジェームス・ゴーマンの並外れたリーダーシップのもと達成した成功を礎に、モルガン・スタンレーを率いるうえで適切な人物であると全会一致で決定した。テッドは、顧客フランチャイズの構築と成長、人材の育成と維持、健全なリスク管理による資本の配分、当社の文化と価値観の推進において確固たる実績を有する戦略的リーダーである。当社は、報酬・経営開発・後継人事委員会の議長を務めるデニス・ナリー氏のリーダーシップの下で進められた取締役会による厳格で適切に管理された後継プロセスが、優れた CEO の任命をもたらし、同時にモルガン・スタンレーのリーダーシップ人材の強さと深さを実証したと考えている。」

「ジェームスが CEO を務めた 14 年間で、モルガン・スタンレーは長期的に持続可能なビジネスモデルを有する、強固でバランスのとれた金融機関へと変貌を遂げた。我々は、ジェームスが会社に与えた多大な影響に感謝し、これからも業務執行会長として、彼の経験と洞察から引き続き恩恵を受けることに感謝している。」

報酬・経営開発・後継人事委員会の議長であるデニス・ナリー氏は次のように述べている。「複数年に渡る計画的な後継プロセスを経て、テッド・ピックがモルガン・スタンレーの次期 CEO に最も適していると判断した。テッドは当社の事業について深い知識を持ち、同社の成長を促進するために必要なことを理

解している。我々は、彼がモルガン・スタンレーを率い、次の 10 年の成長を推進するのにふさわしい人物であると確信している。」

「取締役会は幸運にも、多くの優秀な候補者から CEO 後継者を選出することができた。モルガン・スタンレーを際立たせる要因の 1 つは、まさに当社が有する人材の質と深さであり、そして彼らが文化と価値観をどのように体現しているかである。」

ゴーマンは次のように述べている。「この数年間、私は秩序ある継承を確実なものにするために取締役会と協力してきた。そして私は、今が職を譲る時であると強く感じている。取締役会によるテッド・ピックの選定は素晴らしいものである。私は金融危機以来、テッドとは緊密に仕事をしており、彼の価値観や知性、情熱、そして従業員および顧客への強いコミットメントを目にしてきた。彼は数々の試練を乗り越えた経験を有し、複雑なリスクを理解し、米国だけでなく世界中で非常に効果的に働いている。つまり彼は傑出したエグゼクティブであり、リーダーである。」

「また、アンディとダンがそれぞれより広い責任範囲においてリーダーの役割を担うことを嬉しく思う。両者ともに、卓越した価値感と知性を備えた世界クラスのエグゼクティブである。アンディとダンはモルガン・スタンレーの共同社長として、テッドの会社運営を支えるうえで非常に貴重な存在となるだろう。移行期間と業務執行会長としての任期を通じて、私は新しい CEO としてのテッドをサポートするためにできる限りのことをしたいと考えている。」

ピックは次のように述べている。「モルガン・スタンレーは歴史ある金融機関であり、同社を率いる立場に選任されたことを非常に光栄に思う。当社は、有数の顧客フランチャイズとグローバルで多様なビジネスを展開している。ジェームスによる優れたリーダーシップのおかげで、当社にはどのような市場サイクルにおいても成功するための態勢が整っており、将来のさらなる成長の機会を楽しみにしている。モルガン・スタンレーには非常に才能のある人材がおり、深い文化と揺るぎない価値観が息づいている。また、取締役会が私に示してくれた信頼にも感謝したい。今後、取締役会やアンディ、ダン、その他の経営陣メンバー、そして全ての従業員と密接に連携し、引き続き顧客と株主のために尽力していく。」

テッド・ピックについて

エドワード(テッド)・ピックはこの 2 年間、モルガン・スタンレーの共同社長を務めてきた。法人・機関投資家向け証券業務の統括責任者として、投資銀行部門、株式部門、債券部門、資本市場部門、調査部門を統括する。またコーポレート・ストラテジーの共同責任者も務める。

現職に就く前は、セールス&トレーディング業務のグローバル・ヘッドとして債券部門の経営改革を成し遂げ、また、株式統括責任者としては、株式部門を世界をリードするポジションへと導いた。それ以前は、株式資本市場部の責任者を務め、米国における金融危機時にはモルガン・スタンレーの資本増強にも貢献した。

1990 年にモルガン・スタンレー入社、2002 年にマネージング・ディレクターに昇進。2008 年より同社のマネジメント・コミッティー、2012 年よりオペレーティング・コミッティー、2013 年よりモルガン・スタンレーと MUFG との間のステアリング・コミッティーのメンバーを務める。

ミドルベリー大学を成績優秀(Phi Beta Kappa)で卒業。ハーバード・ビジネス・スクールにて MBA を取得。メトロポリタン美術館の評議員であり、同美術館の指名・ガバナンス投資委員会の委員を務める。また Morgan Stanley Alliance for Children's Mental Health の諮問委員会のチェア及び、国際金融協会 (Institute of International Finance) の理事を務める。

モルガン・スタンレーについて

モルガン・スタンレーは、投資銀行、証券、ウェルス・マネジメント、資産運用事業において多岐にわたるサービスを提供する世界有数の総合金融サービス企業である。世界 42 カ国のオフィスを通じて、法人、政府、機関投資家、個人に質の高い金融商品およびサービスを提供している。同社に関する詳細については www.morganstanley.com をご参照ください。

###